

新規会員の声

卒業半年して思うこと

横井はるな



美和高校を卒業してから約半年が経ちました。写真を見返すと、当時の思い出が蘇ってきても友達とは連絡を取っていますが高校生の頃のように気軽に会うことは難しく、数か月に一度会える喜びを励みにしています。

さて、私は今、津島市立看護専門学校に通っています。コロナ禍ではありますが、入学してから毎日対面授業を行い、先日は初めての病棟実習にも行くことが出来ました。入学してから数か月が経ち、今の生活にも徐々に慣れてはきましたが、今までも目にするこのなかった専門的な用語などがたくさんあり、日々苦戦しています。今は看護を学ぶうえで必要となる基礎知識を主に学んでいるため、記憶していかなければならぬものが多いですが、頭がパンクしてしまうのを学んでいるため楽しく授業を受けています。

そして、看護師になるという同じ目標を持った仲間と支え合い、協力し合いながら、患者さんと目線を合わせ、多様性を理解することができる看護師を目指してこれからも頑張っていくと思います。

最後に、これからも不安定な状況が続くかと思っています。しかし、今までのように負けることなく乗り越えていきたいと考えています。



養護実習を終えて

式守弥琴



私は、母校である
美和高等学校で四週
間の養護実習をさせ
て頂きました。

大学の授業では学ぶことの出来ない生が多くありました。主に、実習では健康診断の補助・来室者対応・保健だより作成・保健指導などを行い、その実習を通して「生徒と多く関わること」や「生徒の情報共有」の必要性を知ることができました。

実習中に保健の授業を始め授業の参観をしました。授業参観を通して普段、保健室に来室する生徒が教室ではどのように過ごしているのか、クラス内でのような友人関係が築かれていくのかなど、生徒たちの普段の様子を知ることができました。養護教諭は、保健室にすることが多く来室する生徒の対応を行っており、普段、保健室にこない生徒のことを知ることが出来ないため、生徒の授業での様子を見に行ったり、健康診断などで多くの生徒と関わったりすることが必要だと感じました。

また、保健室に来室した生徒の対応が終わった後に、いろいろな先生方が保健室に来てその生徒の情報共有をしていた。先生方の様子を通してクラスや部活動などでの悩みを生徒面談から知った時には教員間での情報共有が必要なことを知りました。また、休みがちな生徒や保健室への来室回数が多い生徒など注意すべき生徒を教員間で情報共有していることも知りました。このような取組を通して、養護教諭だけではなく、担任や授業担当、SCなど、それぞれの視点から生徒一人ひとりを観察することができ、生徒に対してより良いサポートをすることができました。養護教諭を知ることで、大きな収穫だっ

たと思います。

四週間の養護実習は、長いようで終わってみるとあっという間で、大好きな母校で、生徒や先生方、指導してくださった先生に恵まれ、私にとって実りある成長を感じられる実習になりました。毎日のように声をかけてくれる生徒たちは本当に可愛くて、私が教師になりたいという気持ちを一層強くしてくれました。この四週間から学んだことを生かして、この先生に出会えてよかった。」と思ってもらえるような教師をめざしていきたいです。

令和4年度

〈離任された先生方〉

人見	浩司	(校長)
國島	浩	(国語)
鈴木	淳子	(情報)
鈴木	要	(数学)
西村	卓哉	(数学)
小成	舞	(英語)
伊藤	篤哉	(英語)
坂田直	多美	(国語)
佐藤	遼英	(国語)
吉田	友紀	(保健体育)
砂子み	なつ	(事務)
鶴見	秀男	(事務)

退職
杏和高校へ
一宮高校へ
一宮起工科高校へ
丹羽高校へ
大府高校へ
退職
津島東高校へ
蒲郡東高校へ
愛知商業高校へ
中村高校へ
退職

母校だより

先生方の異動

〈着任された先生方〉

安藤 雅敏 (数学)	一宮興道高校より
鈴木 卓馬 (数学)	愛西工科高校より
後藤 大樹 (情報)	瀬戸北総合高校より
前田 昌美 (英語)	熱田高校より
初田真由美 (事務)	五条高校より
斎藤 久幸 (事務)	津島高校より



母校の今



7月13～15日のチャレンジスクールにて1年生全員が白樺湖で力又一体験をしました。



6月12日(日)に甚目寺観音で開催された地域行事「つなぐ市場」に母校の生徒も協力しました。



5月27日（金）に遠足を実施しました。
2年生は、三重県のもくもくファーム
でウィンナーやパンづくり体験を楽し
みました。